

結核を治療できるスタッフの現状

現 状

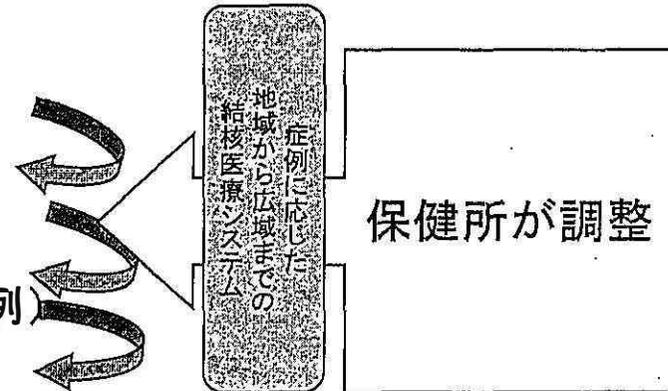
結核病床を有する病院(休床中を除く)は、2カ所
 退院後は地域中核病院(呼吸器科がある)に患者が集中

課 題

地域中核病院(呼吸器科がある)がない地域では、治療スタッフがいらないために遠方への通院が必要
 高齢や合併症等の医学的リスクを抱えた患者が増加し、副作用等の出現のため、より専門的な治療が必要となり、対応できるスタッフがいらない

対応(案)

- ①各地域の医療機関(内科医で対応可能な症例)
 →地域連携パスによる標準治療の実施
- ②地域中核病院(呼吸器科医で対応可能な症例)
 →①で対応が困難な場合
- ③結核専門病院(結核専門医の対応が必要な症例)
 →②で対応が困難な場合



中心医療機関における スタッフの養成環境について

図11

○過去3年間における研修受講状況

年度	職種	人数	研修先
18年度	看護師	3名	結核研究所
20年度	看護師	3名	結核研究所
	医師	1名	結核研究所
21年度 ※予定者を含む	看護師	3名	結核研究所

病院間の情報交換
スキルアップの場

県内で情報を共有できる
体制が必要

◎メンバー
結核病床を有する病院
各保健所
県難病・感染症対策課

◎事務局
県難病・感染症対策課

結核病床を有する病院連絡会